

元気な企業づくりに経営革新!

経営革新計画 事例集

平成31年3月



茨城県産業戦略部中小企業課

経営革新計画承認制度とは

「新商品の開発に取り組みたい」「新サービスの提供を考えている」「新たな生産、販売方式の導入を考えている」・・・など、新たな取組を行い、経営の向上を図ることが、経営革新です。

経営革新計画承認制度は、中小企業等経営強化法に基づき、経営革新に取り組む中小企業者を支援する制度です。

経営革新の流れ(例)

自社の現状を把握 競合店が出店。売上が減少している。



経営課題の抽出 他店の商品や売り方と差別化が図られていない。



対応策の検討 自社の強みを活かして、他店が取り組んでいないことを…。
(どのように、自社の経営を革新するか)



具体的な戦略作り 誰に、何を、どのように。



経営革新計画書作成

- 計画期間3年～5年
- 新たな事業活動に挑戦し、
- 付加価値額（営業利益＋人件費＋減価償却費）が年平均3%伸びること及び経常利益が年平均1%伸びることを目指す。



県への申請

支援策 …政府系金融機関による低利融資、県制度融資、信用保証の特例等

※支援策を利用するには、別途、各支援機関による審査を受ける必要があります。
計画策定の段階で、それぞれの支援機関に利用の条件（資金調達のための担保、保証人）等を確認してください。



計画の承認



計画の実施 新事業を開始。



実施結果の分析 ○○が原因で予想より、売上が伸びていない。
顧客ニーズなどの事業環境が計画を作成したときと変わった。



計画の修正 △△を修正すれば、うまくいくのではないか。
現在の環境に応じて、やり方を見直す。



修正した計画で再度実施

経営革新計画に伴う主な支援策

支援策	概要
(1)茨城県制度融資 (新分野進出等支援融資)	<p>経営革新計画の実施に必要な設備投資や運転資金についての融資制度です。</p> <p>問い合わせ先 茨城県産業戦略部産業政策課 TEL 029-301-3530</p>
(2)政府系金融機関による低利融資	<p>経営革新計画の実施に必要な設備投資や運転資金についての融資制度です。政府系金融機関（日本政策金融公庫）から融資を受ける際の利率が、通常の利率より低くなります。</p> <p>問い合わせ先 日本政策金融公庫（中小企業事業） 水戸支店 TEL 029-231-4246 日本政策金融公庫（国民生活事業） 水戸支店 TEL 029-221-7137 土浦支店 TEL 029-822-4141 日立支店 TEL 0294-24-2451</p>
(3)中小企業信用保険法の特例	<p>経営革新計画に従って行う事業に必要な資金について、信用保証協会からの保証枠が広がる制度です。</p> <p>問い合わせ先 茨城県信用保証協会 本店 TEL 029-224-7811 土浦支店 TEL 029-826-7811</p>
(4)特許関係料金の減免	<p>特許申請を行う場合、特許関係料金（①審査請求料②特許料（第1年～第10年分））が半額軽減される制度です。 ※経営革新計画開始から計画終了後2年以内の出願が対象</p> <p>問い合わせ先 経済産業省産業技術環境局総務課 TEL 03-3501-1773</p>
(5)海外展開に伴う資金調達支援 (※日本政策金融公庫法の特例)	<p>中小企業者の外国関係法人等が、現地（海外）の金融機関から期間1年以上の長期資金を借入する際に、日本政策金融公庫が信用状（スタンドバイ・クレジット）を発行し、その債務を保証する制度です。 ※承認経営革新計画に基づく海外展開の取組が対象</p> <p>問い合わせ先 日本政策金融公庫（中小企業事業） 水戸支店 TEL 029-231-4246</p>
(6)中小企業総合展	<p>中小企業基盤整備機構が開催する中小企業総合展に出展し、経営革新による新商品等を紹介できます。</p> <p>問い合わせ先 中小企業基盤整備機構販路支援部 TEL 03-5470-1525</p>

※支援策を利用するためには、計画の承認とは別に、各支援機関の審査を受ける必要があります。計画作成の段階で、それぞれの支援機関に利用の条件等をご確認ください。（上記支援策は、平成31年1月現在のもので。）

この事例集は、県から経営革新計画の承認を受けた事業者の中から、様々な創意工夫により経営の向上を果たし、平成30年度いばらき経営革新優秀賞を受賞された3社と、平成29年度までに計画期間が到来した6社の協力を得て、経営革新計画の取り組みについてご紹介させていただくものです。

本事例集が、これから経営革新計画に取り組む皆様や、既に取り組んでいる皆様のご参考になれば幸いです。

目次

1	平成30年度いばらき経営革新優秀賞	1
2	経営革新計画承認企業の取組事例	
	【平成30年度いばらき経営革新優秀賞受賞企業】	
	【最優秀賞】 ヤマト精機株式会社（一般機械器具製造業）	2
	【優秀賞】 Sushi Dining 蛇の目（飲食店）	4
	【同】 株式会社吉田屋（食料品製造業）	5
	【平成29年度までに計画期間が到来した企業】	
	① タカノ金型設計（金型設計業）	6
	② シンプルズ（車いす製造業）	6
	③ 持丸自動車株式会社（自動車整備業）	7
	④ ヘアーズオノセ（理容業）	7
	⑤ 株式会社つくばエデュース（介護事業）	8
	⑥ 吉田茶園（製茶製造・販売業）	8
	【過去のいばらき経営革新優秀賞受賞企業紹介】	9
3	参考資料	11



いばらき経営革新優秀賞表彰式（いばらき中小企業経営革新フォーラム2018）

※写真左端は茨城県産業戦略部 小泉部長、写真右端は審査委員長 宮田 貞夫氏

茨城県では、経営革新計画の承認を受け、新たな事業活動に取り組む中小企業のうち、前年度に経営革新計画が終了した企業を対象に、計画の実施状況や実現までの創意工夫、経営指標等を総合的に審査し、模範的取組を表彰する『いばらき経営革新優秀賞』を実施しています。

5回目となる今年度は、下記の3社が受賞されました。



ヤマト精機株式会社（筑西市）

代表取締役 萩原 晃氏（写真中央）

テーマ：工作機械等の部品をユニット化して納品する「自社完結型」体制の構築



Sushi Dining 蛇の目（水戸市）

代表 鯨岡 敬生氏（写真右から2番目）

テーマ：若者世代も楽しめるカジュアルで上質なSushi Dining への変革

株式会社吉田屋（大洗町）

代表取締役 大山 壮郎氏（写真左から2番目）

テーマ：大洗の風（潮風）が育てた茨城県産梅を楽しめるume café への変革



最優秀賞

平成30年度 いばらき経営革新優秀賞受賞企業

ヤマト精機株式会社

代表取締役 萩原 晃氏

所在地	筑西市
計画テーマ	工作機械等の部品をユニット化して納品する「自社完結型」体制の構築
業種	一般機械器具製造業
創業年	昭和55年
計画承認年月	平成27年4月
計画期間	平成26年4月～平成30年3月（4年計画）
支援機関	株式会社ディセンター



●企業概要

当社は、昭和55年に創業した金属加工会社で、ファナック株式会社、株式会社日立製作所、株式会社協立製作所、東京計器株式会社などを主な取引先として、産業用ロボット、建設機械、精密機械等の金属部品の製造を行っております。特に、ファナック株式会社とは、月に1～2回の頻度で技術ミーティングを実施しており、当社が部品製造技術に関するアドバイス・助言・提案を行うなど、強固な結びつきが構築されております。

また、補助金等を有効活用し、工場増設や機械設備の増強等を積極的に進めてきたことで、部品の品質や生産性の向上を実現し、事業規模の拡大を行ってまいりました。



事務所外観

●経営課題

顧客である機械等メーカーから受注者である金属加工業者へ寄せられる製品に対する要望項目は、「高精度」「短納期」「低価格」の3点セットと決まっておりました。しかし、近年では、この状況に変化が生じてきており、個別の部品を単体で納品するのではなく、複数の部品を組み立ててユニット化したものを納品するよう、取引先から求められることが多くなっております。当社としましては、これまで金属部品を単体で納品してきましたが、この顧客ニーズの変化に対応するため、アッセンブリ（2つ以上の部品で組み立てられた部品）能力の向上に取り組むとともに、金属部品をユニット化して納品するための体制構築が課題となっております。



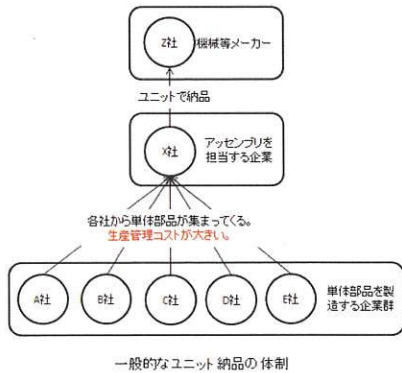
永年勤続者表彰

●経営革新

「工作機械等の部品をユニット化して納品する自社完結型体制の構築」

平成26年にファナック株式会社から、同社製マシニングセンタの金属部品に係るユニット納品依頼を受け、ここでアッセンブリを経験するとともに、試作品の納品を行いました。この経験を通じて、当社でもアッセンブリ能力を身に付け、高めることが可能だと思い、他社と差別化されたユニット納品体制の構築に取り組みました。

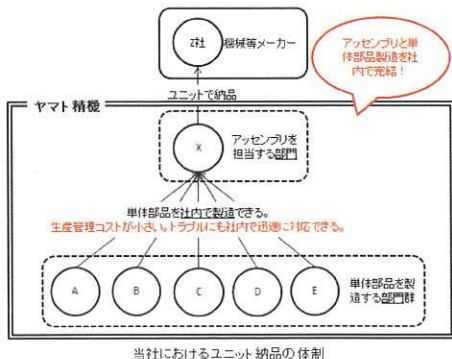
まず、ユニット納品につきましては、まだまだ少数の事例しかありませんが、先行例としては、下図の体制「グループ型」で行われております。



一般的なユニット 納品の体制

グループ型では、アッセンブリを担当する企業（X社）が、機械メーカー（Z社）や単体部品を製造する複数企業（A～E社）との連絡調整を行います。このため、X社では生産管理に膨大なコストを要するほか、品質・数量・納期を厳守する必要がありますことから、アッセンブリを担当する企業にとっては、非常に負担の大きい体制となっております。

これに対し、当社におきましては、下図の独自体制「自社完結型」を構築することにより、他社との差別化を図るとともに、アッセンブリに係る負担軽減を実現しました。



当社におけるユニット 納品の体制

自社完結型では、これまで別々の企業が担当してきたアッセンブリと単体部品の製造を、当社内部で完結させる体制となっております。この体制を構築したことで、過重な生産管理コストを負担することなく「ユニット納品ができる金属加工業者」として、事業展開を行うことが可能となりました。また、大型マシニングセンタを導入し、ユニット部品の受注増加に対応したほか、自社のみでは対応しきれない板金や溶接・塗装を伴うようなユニット部品の依頼についても、協力企業との連携体制を構築し、対応いたしました。

これらの取組によって、既存取引先からのユニット部品の受注獲得に繋がったほか、ユニット部品全体の生産管理が可能となり、不良品の発生率が低減されたことから、収益性の向上が図られました。



ガス充填バルブASSY

●今後の展開

平成30年にJISQ9100認証を取得したことから、大型かつ高精度な部品が要求される航空機分野や防衛分野など、新たな分野にも進出する予定です。この分野においても、既に引き合いがあり、一部試作も済んでいることから、新規顧客を獲得し、受注の安定・拡大を図るなど、更なる企業価値の向上を目指したいと思っております。

さらに、近年の技術革新によって、取引先から当社に寄せられる要望も高度なものとなっておりますので、適切かつ誠実に対応し、信頼獲得による受注増加を目指していきたいと考えております。



優秀賞

平成30年度 いばらき経営革新優秀賞受賞企業

Sushi Dining 蛇の目

代表 鯨岡 敬生 氏

所在地	水戸市
計画テーマ	若者世代も楽しめるカジュアルで上質な Sushi Dining への変革
業種	飲食店
創業年	昭和61年
計画承認年月	平成26年12月
計画期間	平成26年1月～平成29年12月（4年計画）
支援機関	水戸市常澄商工会、中小企業診断士 阿内 利之



●企業概要

当社は、昭和61年に創業した寿司店で、主に水戸駅南口周辺に勤務するサラリーマン等を対象に、本格的な寿司店でありながら、低価格で提供してきたことにより、顧客からの信頼を得てきました。

しかし、開業当初からの固定客の高齢化が進んでおり、今後の顧客数減少が見込まれることに加え、回転寿司店の増加や食生活の多様化により、競争が激化していることから、業績が停滞しております。

このような中で、若者などの新規客層を開拓するために、寿司屋のカジュアル化など、若者でも入りやすい空間づくりが課題となっております。

そこで、水戸市常澄商工会の支援を受け、経営革新計画に取り組むこととしました。



和モダンな店内

●経営革新

「カジュアルで上質な Sushi Dining への変革」

若者でも入りやすい寿司屋のカジュアル化を図るため、和モダンを基調とした店舗改装、スポット照明やBGMにジャズを活用、掘りごたつ式のテーブルを設置するなど、カジュアルで上質な空間を演出しました。また、地元で水揚げされた極上ネタや珍しいネタに加えて、瞬間スモーク寿司や刺身、常陸牛のスモークなど、顧客を飽きさせないために、常に新たなメニューの開発・提供に取り組みました。さらに、来店動機の喚起を行うため、日本酒を豊富に取り揃え、少量を飲み比べられるよう提供するとともに、ボトルキープにも対応し、継続的に来店してもらえるようなサービスも実施しました。

これらの取組によって、若者でも入りやすい寿司店として、イメージの変革が図られ、若者客の獲得に繋がったほか、新メニューの斬新さから、外国人を中心とした観光客の獲得にも繋がり、全体として顧客数が増加しました。

今後は、本事業の実施により、外国人顧客が増加していることから、メニューに外国語の表記を追加するなど、外国人向けのサービスを実施し、外国人顧客の獲得を目的とした新たな事業展開に取り組んでいきたいと考えております。



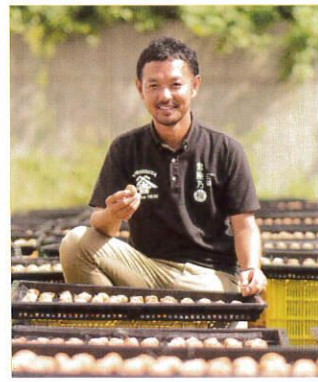
平成30年度 いばらき経営革新優秀賞受賞企業

株式会社吉田屋

代表取締役 大山 壮郎 氏

優秀賞

所在地	東茨城郡大洗町
計画テーマ	大洗の風（潮風）が育てた茨城県産梅を楽しめる ume café への変革
業種	食料品製造業
創業年	天保元年
計画承認年月	平成25年10月
計画期間	平成25年6月～平成29年5月（4年計画）
支援機関	大洗町商工会、中小企業診断士 阿内 利之



〈優秀賞〉

株式会社吉田屋

●企業概要

当社は、天保元年に創業した漬物製造業で、梅干や漬物を自社で一貫して製造し、主に県内の百貨店やスーパー等への卸販売を行っております。平成25年には、JA土浦が開発した新品种「露茜」を活用した県産ブランド梅商品の製造・販売で農商工連携事業計画の認定を受けました。

しかし、当社の販売拠点である本社店舗は、販売スペース等が狭く、顧客に対して買い物の楽しさやくつろぎ等を十分に提供できておりませんでした。

そのため、現在の店舗を改築し、売り場スペースを拡張するとともに、「買い物の楽しさを提供する機能」「情報発信・提供機能」「飲食機能」「体験機能」などを備えた新型店舗を設置し、新規顧客の獲得を図ることが課題となっておりました。

そこで、大洗町商工会の支援を受け、経営革新計画に取り組むこととしました。



新店舗「ume café WAON」

●経営革新

「茨城県産梅を楽しめる店舗 ume café の設置」

新たにcafe 事業を展開するために、現店舗を改築し、売り場スペースの拡張やイートインスペースの設置を行いました。さらに、梅に特化した茶屋メニューの開発、梅シロップづくりの体験サービスの実施、店内に設置したモニターによる茨城県の梅文化の紹介等に取り組みました。

また、品種別茨城県産ブランド梅訴求商品「石川一号・加賀地蔵無添加高級梅干し」や茨城県産梅加工品「露茜梅シロップ」「ねり梅ペースト」など、地域性の高い独自商品を開発しました。

これらの取組によって、観光客でも気軽に寄れる店舗として認知され、新規顧客の獲得に繋がったほか、新商品「梅シロップ」がホテルで提供するデザートや結婚式の引き出物としても受注が増加するなど、想定以上の効果を得ることができました。

また、cafe 事業から派生した新商品「梅シロップPureSweet」「大洗潮風の梅干し」「ブルブル梅ゼリー」などが、大洗町のブランド認証を受け、新たな町の特産品として、町のブランド力向上に繋がっていることから、引き続き行政等と連携し、梅の魅力を発信していきたいと思っております。

平成29年度までに計画期間が到来した企業

金型設計と解析結果を生かしたプラスチック成形問題解決サービスの提供

1 タカノ金型設計

■所在地:取手市 ■代表者:鷹野 肇 ■業種:金型設計業
 ■支援機関:取手市商工会、中小企業診断士 宮田 貞夫、中原 達男

○計画作成時の状況・計画内容

平成25年創業。プラスチック成形金型メーカーから依頼を受けて、プラスチック製品の設計データを基に金型の設計を行っているが、複数の取引先からの同時受注に対応できないため、設計以外での受注獲得が課題となっている。

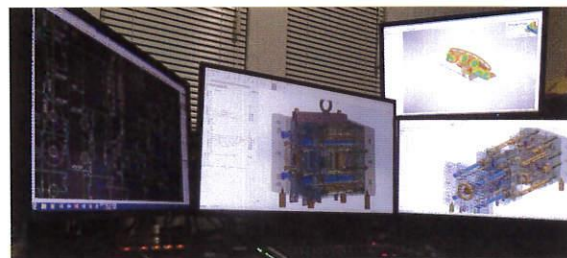
一方で、取引先からは、金型の品質向上及び不良低減を求められているため、長年の金型設計ノウハウを活かし、金型設計時に不良原因を把握し、問題解決を図るサービスの提供に取り組むこととした。

- ・プラスチック製品の3Dデータを顧客から入手し、金型設計段階で樹脂の流動を解析する。
- ・解析結果を分析し、事前の対策を講じることで、問題発生を防止し、不良低減を図る。

○計画の成果・感想及び今後の展開

樹脂の流動解析によって、不具合の発生を予測し、その対策を講じた図面の作成に取り組んだことで、既存サービスの付加価値が高まり、売上の向上及び平準化に繋がった。

今後は、予想を上回る需要に対応するため、事業の効率化及び生産性の向上に取り組みたいと考えている。



流動解析システム

3D立体造形と身体変化追従装置による重度障害児用新車いす搭載装置の開発

2 シンプルズ

■所在地:守谷市 ■代表者:萩原 達哉 ■業種:車いす製造業
 ■支援機関:取手市商工会

○計画作成時の状況・計画内容

平成22年創業。比較的軽度の身体障害児に対するオーダーメイド車いす及び座位保持装置の設計・製造・販売を一貫して行っている。

事業を行っている中で、「他社の既存の座位保持装置では、重度身体障害児の複雑な身体形状及び成長発達による身体変化への対応、長時間の座位が困難である」との声を受け、適確な身体情報の把握による3Dパッド及びシートを搭載した重度身体障害児向け車いすの開発に取り組むこととした。

- ・3Dスキャナーで身体情報を正確に把握し、3Dプリンターで3Dパッド及びシートを製作する。
- ・上記を車いすに固定し、結合部2箇所を360°可動できる身体変化追従装置を開発する。

○計画の成果・感想及び今後の展開

3Dパッド及びシートの製作に加えて、身体変化追従装置を車いすに搭載したことで、座位時間の長期化が図られ、重度身体障害児に対する車いすの提供が可能となり、新規顧客の獲得に繋がった。

今後は、2回目の経営革新計画として、車いすのシートやパッドの素材を自社開発し、更なる座位時間の長期化を図る計画を策定する予定。



座位保持装置搭載の車いす

スピーディーと正確さを両立するブライトサービスの展開

3 持丸自動車株式会社

■所在地:笠間市 ■代表者:持丸 将夫 ■業種:自動車整備業
 ■支援機関:笠間市商工会、経営コンサルタント 三宅 邦之

○計画作成時の状況・計画内容

昭和44年創業。市内の個人客を中心に自動車の整備や钣金・塗装、販売などを行っている。地域の同業者数は増加しているが業界全体の売上は減少するなど、競争が激化していることから、他社と差別化されたサービスの提供が必要となっている。

一方で、顧客から自動車整備に要する時間の短縮などが求められているため、塗装スピード及び調色精度を向上させた塗装サービスの提供に取り組むこととした。

- ・調色コンピューターシステムを導入し、調色データを基に塗料を配合、車と測色した塗板の色を確認することにより、調色スピードの大幅な短縮と調色精度の向上を図る。

○計画の成果・感想及び今後の展開

調色コンピューターシステムを導入し、塗装時間の短縮により受注対応可能台数が増加したほか、調色精度の向上によって、法人客からの受注増加や商圏の拡大に繋げることができた。

今後は、近年増加している外車修理に関するニーズに対応するため、外車修理プロセスの構築に取り組み、更なる受注増加を図りたいと考えている。



調色コンピューターシステム

美容・理容を区別しない「ヘアサロン・ビジネス」の展開

4 ヘアーズオノセ

■所在地:銚田市 ■代表者:小野瀬 文隆 ■業種:理容業
 ■支援機関:銚田市商工会、中小企業診断士 宮田 貞夫

○計画作成時の状況・計画内容

昭和34年創業。市内の男性客を中心に、総合調髪、アイロンパーマ・顔剃り、フェイシャルエステなどの理容サービスを提供しているが、近年では、男性客が美容室を利用する傾向があるほか、低価格カット専門店の出現など、競争が激化していることから、新たな客層の開拓が必要となっている。

また、理容室は独特の雰囲気があり、女性客に敬遠される傾向があるため、理容・美容を区別しない「ヘアサロン・ビジネス」を展開することとした。

- ・美容室と区別がつかない外観とし、美容業に比べて低価格とすることで、女性客の獲得を図る。
- ・美容業にはないフェイシャルエステや顧客に合わせた香粧品の提供により差別化を図る。

○計画の成果・感想及び今後の展開

理容室感のない店舗外装への改修や美容業にはないサービス提供のほか、ヘアアレンジ・フェイシャルエステ等のSNSによる情報発信、ブライダル事業者と連携したシェービングを実施し、女性客の獲得とともに商圏の拡大に繋げることができた。

今後は、顧客を「健康な髪や肌」に導くため、知識や技術の向上に取り組みたいと考えている。



店舗外観

平成29年度までに計画期間が到来した企業

ショートステイと小規模多機能型居宅介護のワンストップ提供による多様な介護ニーズの獲得

5 株式会社つくばエデュース

■所在地:つくば市 ■代表者:村上 義孝 ■業種:介護事業
 ■支援機関:茨城県信用組合、中小企業診断士 中原 達男

○計画作成時の状況・計画内容

平成9年創業。ショートステイ施設の運営や介護人材育成等を行っており、高齢化の進展や介護保険の認知度向上等によりデイサービスや訪問介護などの様々なサービスが求められている。

さらに近年では、高齢者が寝たきり状態にならないよう、自力生活向上支援が求められていることから、多様化したニーズに対応するため小規模多機能型居宅介護サービスをワンストップで提供することとした。

- ・新たに小規模多機能型居宅介護サービスを提供するほか、既存施設の増床も行う。
- ・自力生活向上支援として、アニマルセラピーロボットの導入、敷地内散歩コースの設置等を行う。

○計画の成果・感想及び今後の展開

小規模多機能型居宅介護施設を開設し、アニマルセラピーロボットの導入に加え、敷地内に散歩コースや福祉農園を設置するなど、入所者の自力生活向上に繋がる環境整備に取り組んだことにより、新規顧客の獲得に繋げることができた。

今後も積極的に福祉イベント等を実施し、介護に対するイメージを変えていきたいと考えている。



散歩コースの活用

自社オリジナルブランド製品の開発と『味わいアンテナショップ』の併設

6 吉田茶園

■所在地:古河市 ■代表者:吉田 正之 ■業種:製茶製造・販売業
 ■支援機関:古河市商工会

○計画作成時の状況・計画内容

創業100年超。自家生産した茶葉を地域に根差した対面による営業を中心とした自店舗販売を行ってきたが、知名度が低いことから、他社との差別化や外部へのPRが必要となっている。

一方で、嗜好品としてお茶を楽しむ客層が存在することから、自社オリジナルブランド商品の開発とともに、顧客の嗜好に合う商品の紹介や試飲を行うアンテナショップを開設することとした。

- ・自社生産する紅茶用希少茶葉「いずみ」や自社選抜品種「美紗希」の商品化を行う。
- ・日本茶インストラクターの資格を活かし、顧客の嗜好に合った商品の紹介、お茶の入れ方や試飲を行うアンテナショップを開設する。

○計画の成果・感想及び今後の展開

「いずみ」「美紗希」の商品化を行い、通年販売を開始したほか、アンテナショップを開設し、お茶の入れ方教室の他に、お茶摘み、紅茶づくり体験等を実施したことにより、顧客との接点が構築され、新規顧客の獲得に繋げることができた。

今後も展示会への出展など、積極的なPRを実施し、顧客獲得を行っていきたいと考えている。



自社オリジナル商品

過去のいばらき経営革新優秀賞受賞企業紹介

第1回（平成26年度）



最優秀賞

株式会社富山塗装（常陸大宮市）

「地球と人に優しいエコ塗装の提供とセミナーノウハウのパッケージ販売システムの構築」



優秀賞

株式会社茨城県南木造住宅センター（つくば市）

「自社の培った木材扱いの知識と経験を活かした『県産材』の新たな販売サービスの開発とその展開」

松本電工株式会社（小美玉市）

「ショールームの有効活用と独自のオプションブックによって開始する安心の電気自動車充電インフラ設備工事分野への進出」

第2回（平成27年度）



最優秀賞

有限会社佐白山のとうふ屋（笠間市）

「茨城の茨城たる新しい豆腐商品の開発と来店客を大切にする豆腐茶屋への変革」



優秀賞

株式会社カジマ（大洗町）

「本物の海鮮食材とこれを活かして作る惣菜を取り揃えた海鮮専門店の開発」

兼晃園（牛久市）

「『花のある空間』を提案するサービスの展開」

過去のいばらき経営革新優秀賞受賞企業紹介

第3回（平成28年度）



最優秀賞

稲葉酒造（つくば市）

「地元産果実等を用いた小ロットリキュール製造、伝統ブランド品の復活による新たな事業展開」



優秀賞

有限会社リカーショップスドウ（つくば市）

「酒文化をカジュアルに伝えるお店の設置による新規地酒ファンの創造」

株式会社ころろ 笠間ミルクセンター（笠間市）

「高齢者や買い物弱者等への安否確認や生活用品等の配達サービスの提供と従業員の満足度向上の視点を取り入れた新たな営業スタイルの構築」



第4回（平成29年度）



最優秀賞

株式会社小野写真館（ひたちなか市）

「衣装、美容、写真内製化のウェディング専門レストランの出店&ゲストハウス運営」



優秀賞

株式会社全米協システム（石岡市）

「石岡の地域資源を生かした新業態店舗の開発とO2O展開による収益基盤の再構築」

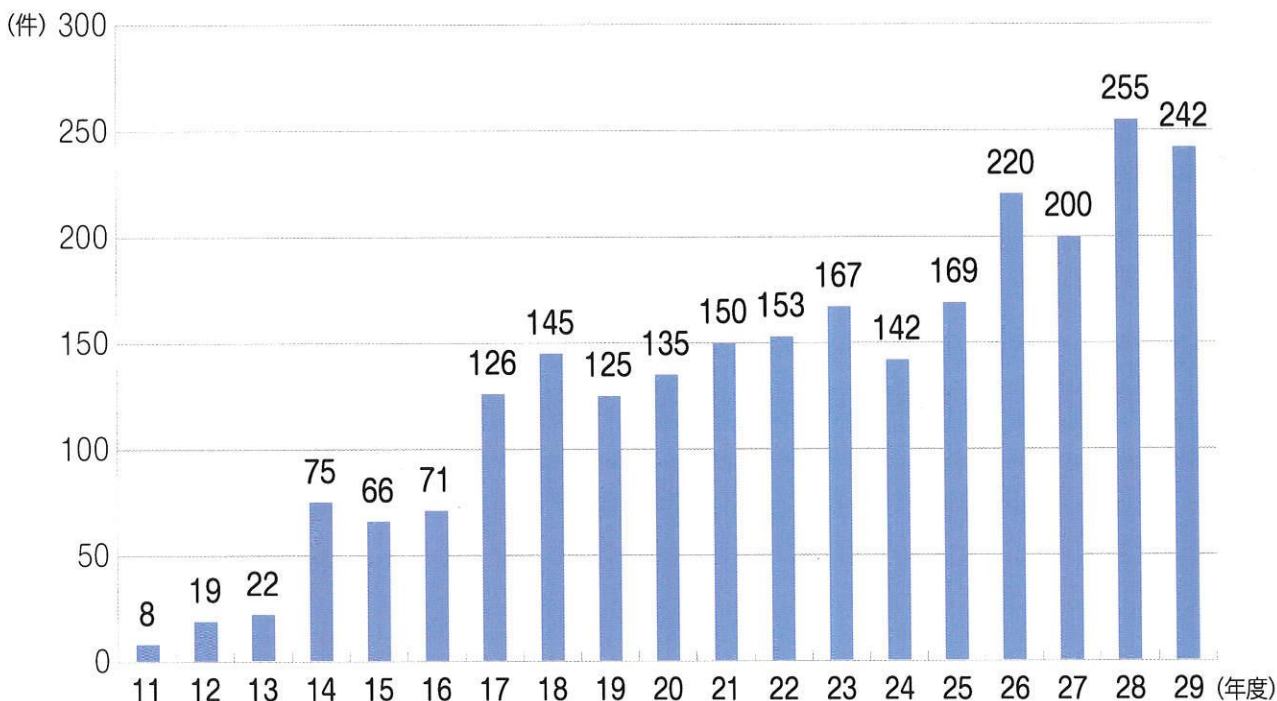
株式会社K S K（取手市）

「新技術の実用化による的確な構造物の調査・診断・評価業務の提供」



参考資料

①本県の経営革新計画承認件数の推移（H11～H29）



②経営革新計画作成による主なメリット

【知名度・信用度の向上について】

- 知名度・信用力が向上した 38.9%
- 宣伝・営業が行いやすくなった 46.9%

【資金調達について】

- 金融機関への信用力が向上した 37.3%

【経営全般について】

- 社内の意識が向上した 40.6%
- 中・長期計画の立案が可能となった 48.2%
- 計画の実行性が増した 38.8%

【技術力・開発力の向上について】

- 計画を立てる方法がわかった 65.0%
- 客観的評価が可能になった 41.3%



※承認企業714社による複数回答
(平成30年度フォローアップ調査より)

経営革新計画の申請・問合せ先

茨城県産業戦略部中小企業課

〒310-8555 水戸市笠原町978-6（県庁16F北側）

TEL. 029-301-3560（直通）

FAX. 029-301-3569

申請様式等のダウンロード

承認申請書及び補助様式は茨城県産業戦略部中小企業課のホームページから入手できます。

URL : <http://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/chusho/keiei/keieikakushin/yousiki.html>

※各検索エンジンから「茨城県中小企業課」のキーワードで検索可能です。

●ダウンロードページへの行き方

中小企業課ホームページ → トピックスの 経営革新 をクリック → 申請書様式 をクリック



古紙/バブル配合率70%再生紙を使用